



アイムポッシブル

国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』教員研修について

アイムポッシブル

パラリンピック教育推進事業として、I'mPOSSIBLE日本版事務局では、都道府県・市区町村の教育委員会からのリクエストに応じ、研修講座を開催しています。（最低催行人数 40 名）

アイムポッシブル

「I'mPOSSIBLE」は、パラリンピックを題材に、共生社会への気づきを子供達に与える教材で、「東京 2020 教育プログラム（愛称：よいい、ドン!）」のパラリンピック教材としても位置付けられています。本教材の教育的な意義の理解を深めていただくと共に、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を展開するためのアイデアなどを提供します。

◇先生方の「どうしたら??」の力になります。こんなときはぜひ研修をご活用ください。

- パラリンピックについて、もっと詳しく知りたい
- パラリンピック教育で、何をすればいいのか迷っている
- パラリンピックについて、どう教えていいのか悩んでいる
- パラリンピック教育を担当することに不安を抱いている

◇研修後には、以下のようなご感想をいただいています。

- スポーツを体験し、パラリンピックの基本を知り、その意義や価値について考えることができるので、総合学習の時間にしっかり取り組みたいと思った。
- これまで、アスリートに來校いただいたことはあったが、子どもたちにとっては、当日ではなく、事前と事後の学びも大切であることがわかった。
- 日常の活動や、今行っている学習につなげていけると思った。
- 無理ない形で取り入れることができる、工夫のしやすい教材なので、市教委としても実践例や具体的な指導方法を周知していきたいと思った。

◇研修会は、リクエストに応じ、様々な形態で展開することが可能です。

【2 時間半コースの例】

- ◆ ゴールボール（40 分）
- ◆ ボッチャ（20 分）
- ◆ 休憩（10 分）
- ◆ 座学（55 分）
- ◆ ディスカッションと質疑応答(20 分)
- ◆ アンケート(5 分)

【1 時間半コースの例】

- ◆ 座学（65 分）
- ◆ ディスカッションと質疑応答(20 分)
- ◆ アンケート(5 分)

教員研修に関するお問合せ I'mPOSSIBLE 日本版事務局(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会/日本財団パラリンピックサポートセンター)後藤・小柳

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 4 階 パラサポ内
TEL:03-6229-5404/3721 / FAX: 03-6229-3722 / Email: iampossible@parasapo.tokyo